

研究論文
二宮皓 『わが国の国際教育協力の現状と課題』
二谷貞夫 『国際理解の素養としての世界史学習のあり方』
新井郁男 『「国家」理解のための国際理解教育の課題』
倉石一郎 『教育実践記録における〈生成する語り〉の諸相』
実践研究
高尾隆 『グローバル・クラスにおける学びとは何だったのか?』
実践報告
田川寿一 『異文化共生社会における人間関係スキルの育成』
久松宏二 『異文化交流実践において学ぶこと』
福井延幸 『幕末庶民の対外認識』
寺島隆吉 『「平和の文化、国際年」に寄せて』
特別寄稿
安藤益代 『インターネットがもたらす高校の国際教育の変化』
調査報告
木之下研悟 『日本の学校と朝鮮学校の交流の現状』
研究余滴
星村平和 『文化人類学との出会い—私にとっての 1970 年代』
海外情報
大杉千恵子 『ハンガリーで日本語を教える人たち』

書評

樋口信也

渡部 淳著『教育における演劇的知』

山西優二

宇土泰寛著『地球号の子どもたち』

和田俊彦

寺島隆吉著『国際理解の歩き方』

新刊紹介

藤原孝章

藤沢 皓著『はばたけ若き地球市民』

平野吉三

国際教育専門委員会編『地球時代とこころの国際化』